

トヨタ純正

チャイルド・シート取扱説明書



お子様の安全のため取扱説明書をよくお読みの上、
正しくお使い下さい。
本書は車の中に保管し、必要に応じてお読み下さい。

トヨタ自動車株式会社

§1 ご使用の前に

- ① ご使用いただけるお子様
- ② 各部の名称
- ③ 取り付け完成図

2

§2 肩ベルトの調整方法

3

§3 車両への取り付け方

- ① シートベルトの種類
- ② 前向きに取り付ける場合
- ③ 後向きに取り付ける場合
- ④ ロッキングクリップの使い方
- ⑤ 取り付け後の点検

4

8

§4 ご使用方法

- ① 着用方法
- ② リクライニングの仕方

9

§5 チャイルド・シートのお手入れ

- ① 表皮の外し方
- ② 構成部品のお手入れ
- ③ 表皮の取り付け方

10

§6 その他の注意事項

10

《ご注意》

- シートベルトが取り付けられていない座席にはチャイルド・シートを取り付けることが出来ません。
- 車両進行方向に対し、横向きまたは、後向きの座席には、使用しないで下さい。
- 車両の座席以外でのご使用はおやめ下さい。
- 奥行45cm以下の座席には取り付けないで下さい。

§1 ご使用の前に

■このチャイルド・シートは

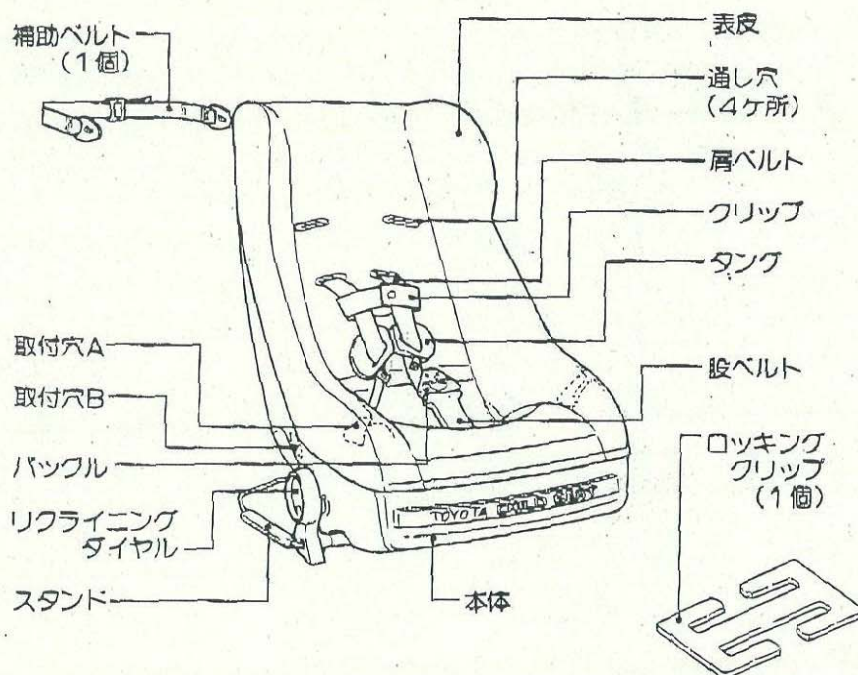
1. お子様の動きにより肩ベルトが自由に出入りし、緊急時にのみロックいたします。
2. シートベルトを使用して前席または後席に取り付けます。
3. 車両進行方向に対し、前向きまたは後向きの2通りの取り付け方がありますので、お子様の年齢に応じて使い分けて下さい。
4. 前向きに取り付けた場合には、2段にリクライニングすることが出来ます。

①ご使用いただけるお子様

■目やすとして次の条件を満たすお子様にお使い下さい。

1. 年齢：生後6ヶ月～4才
2. 体重：7kg～16kg
3. ひとり座りが出来るお子様
4. 座った時、チャイルド・シートによってお子様の頭部が支えられること。

②各部の名称



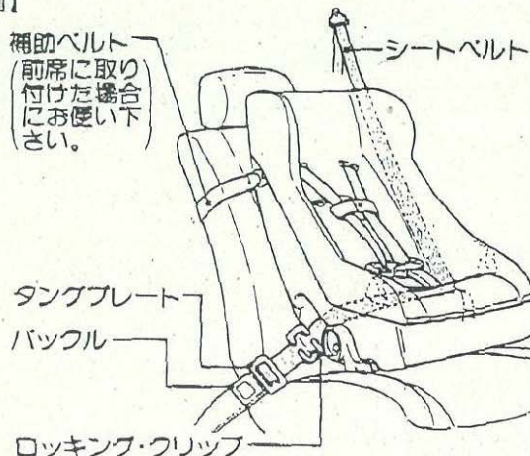
《ご注意》

補助ベルト、ロックング・クリップは紛失しないよう、大切に保管して下さい。

③取り付け完成図

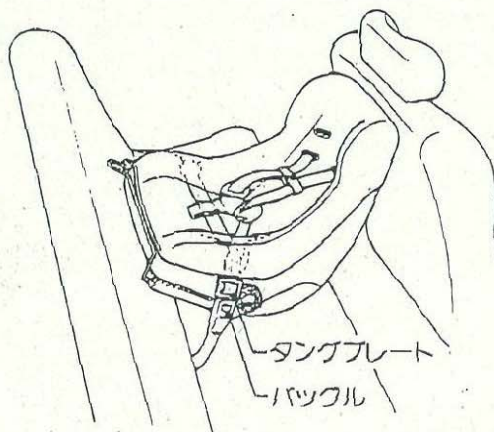
《前向きに取り付けた場合》

【例】



《後向きに取り付けた場合》

【例】



§2 肩ベルトの調整方法

■次のような場合には、肩ベルトを調節して下さい。

1. ご使用になるお子様の体に合わせて肩ベルトの通し穴の位置を変える場合。
2. 正しく着用しても、まだ肩ベルトにたるみがある場合。
3. お手入れのため表皮を取り外す場合。

手 順	1	2	3	4
方 法	③：体重11kg以上 身長75cm以上 のお子様 ④：体重11kg未満 身長75cm未満 のお子様	フリップ タング バックル	表皮 キャップ	キャップ 調節部
説 明	お子様の体に合わせて肩ベルトの通し穴③、④をお選び下さい。 (身長、体重は目やすとお考え下さい。)	クリップを外し、次にバックルの(PRESS)ボタンを押してタングを外して下さい。	表皮をキャップが見える位置まで外して下さい。	肩ベルト取り付け部のキャップを外し、次に調節部からベルトを外して下さい。
	5	6	7	8
	肩ベルト 通し穴③ 通し穴④	肩ベルト フリップ タング (左右) キャップ (左右) 表皮	肩ベルトを先端から5cm以上出す [矢印→短く] [矢印→長く] 外側 調節部	・ベルトのねじれ ・ベルトの長さ不均等 たるみ
	肩ベルトからタング、クリップ、キャップ、表皮を取り外し、手順1を参考にお子様に合わせて、背部の通し穴に肩ベルトを通して下さい。	クリップ、タング、表皮、キャップの順で肩ベルトを通して下さい。 《ご注意》 タングとキャップの組み付け方向を間違いないようにして下さい。	調節部に肩ベルトを取り付け、お子様が着用した時、肩ベルトにたるみが生じないように長さを調節して下さい。 《ご注意》 調節部から肩ベルト先端が5cm以上出るようにして下さい。	ベルトのねじれや長さ不均等がないことを確認し、キャップと表皮をもとどおりにはめて下さい。

《ご注意》

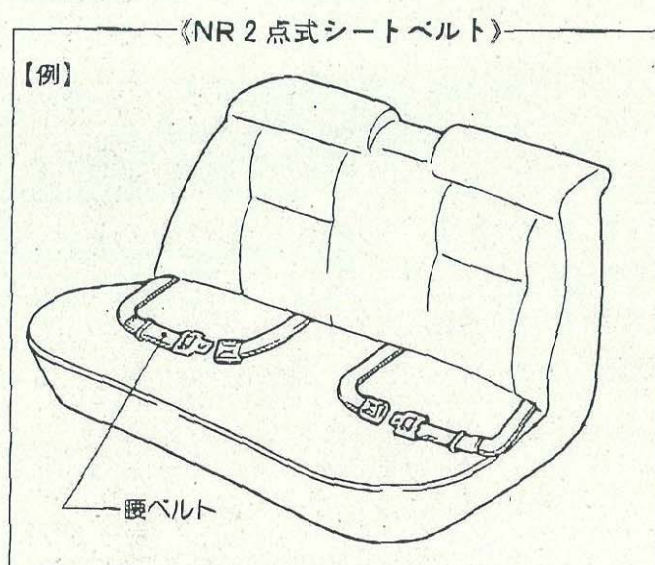
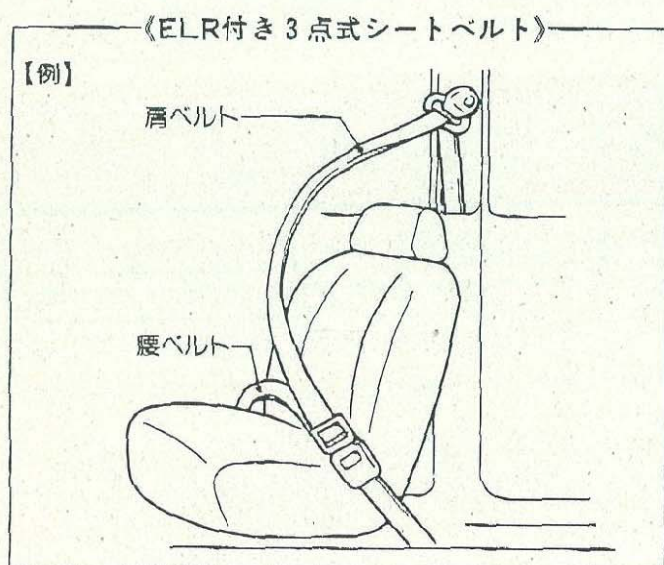
お子様が大きくなったら、通し穴③に調整してご使用下さい。

§3 車両への取り付け方

①シートベルトの種類

■シートベルトの種類により使い方が異なります。
あなたのお車に合った取り付けをして下さい。

ベルトの種類	ベルトの特徴
●ELR（緊急時固定式ベルト巻き取り装置）付きシートベルト	通常は、ベルトが自由に出入りし急ブレーキ等、衝撃を感知した時だけロック機構が働き、ベルトがロックされるもの 《ELRの特殊な種類として次のものがあります。》 ●ELR 2個付き：肩ベルトと腰ベルトがそれぞれ巻き取られるもの ●2重巻きELR：肩ベルトと腰ベルトがいっしょに巻き取られるもの
●ALR（自動ロック式ベルト巻き取り装置）付きシートベルト	ベルトを任意の位置まで引き出せば、その位置で自動的にロックされるもの
●NLR（非ロック式ベルト巻き取り装置）付きシートベルト	ロック機構がなく、ベルトを全部引き出した状態で使用し、身体に合わせ、ベルトの長さを調節する必要があるもの 《NLRの特殊な種類として次のものがあります。》 ●巻き取り装置付き 2点式シートベルト：腰ベルトの途中に巻き取り装置のあるもの
●NR（長さ調整式）シートベルト	巻き取り装置がなく、身体に合わせてベルトの長さを調節して使用するもの



《ご注意》

車両の取扱書をよく読んで、シートベルトの種類を確認し、正しくお使い下さい。

②前向きに取り付ける場合

■1才以上のお子様には、チャイルド・シートを前向きに取り付けることをおすすめいたします。
次の手順に従って車両に取り付けてご使用下さい。

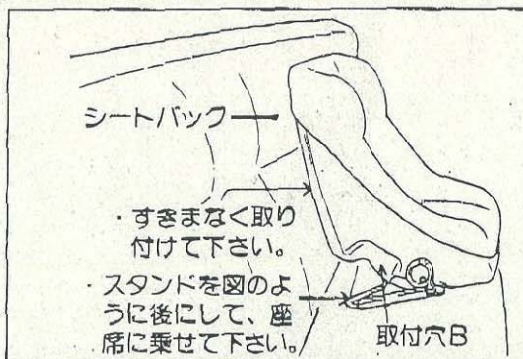
手順 1

●前席に取り付ける場合

チャイルド・シートとシートバックにすきまがないように車両シートのリクライニング部を調節して下さい。

●後席に取り付ける場合

チャイルド・シートが安定するようにシートバックに当てて下さい。

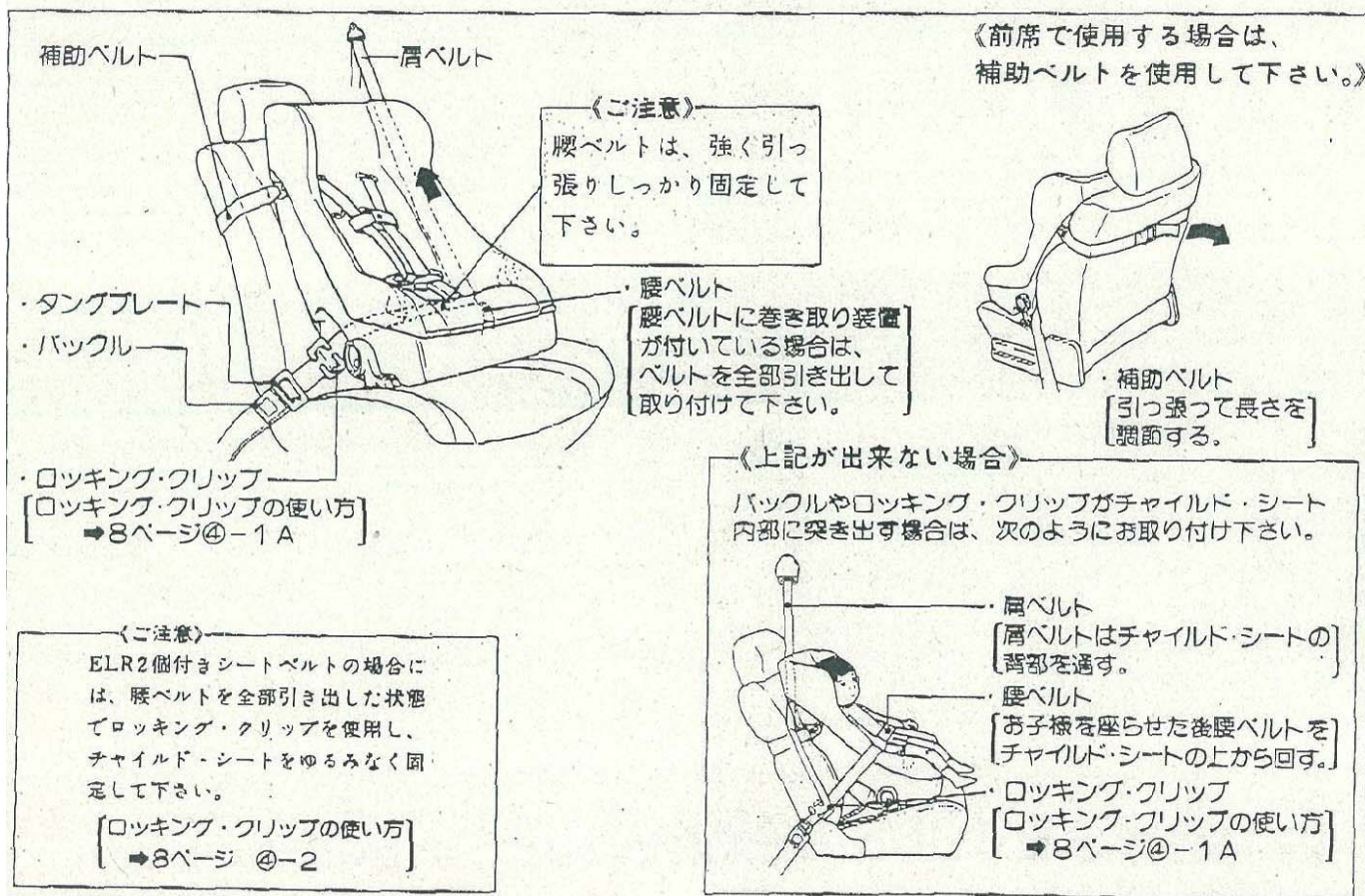


《ご注意》

安全性をより高めるために、後席へのお取り付けをおすすめします。また前席でご使用される場合には、シートを出来るだけ後方へ下げて取り付けして下さい。

手順 2 (ELR・NLR・NR 3点式シートベルトの場合)

1. 下図のように、取付穴Bにシートベルトを通し、バックルとタングプレートを結合して下さい。
2. 次にチャイルド・シートを強く座席に押しつけ、お子様が座っても腰ベルトが強く張るように⇒印のベルトを引張り腰ベルトの長さを決めて下さい。
3. 一旦、バックルとタングプレートの結合を外し、腰ベルトがズレないように、ロックング・クリップまたは調節部分でベルトを固定して下さい。
4. 再び下図のようにシートベルトを通し、バックルとタングプレートを結合して下さい。そして、お子様が座っても腰ベルトにたるみが出ないかチャイルド・シートを座席に強く押しつけて確認して下さい。もし、たるみが発生するようであれば、さらに腰ベルトを短く調節し取り付けして下さい。



手順 2 (NR・ALR・NLR・ELR 2点式シートベルトの場合)

1. 下図のように、取付穴Bにシートベルトを通し、バックルとタングプレートとを結合して下さい。
2. 次にチャイルド・シートを強く座席に押しつけ、お子様が座っても腰ベルトが強く張るように腰ベルトの長さを決めて下さい。
3. 一旦、バックルとタングプレートの結合を外し、腰ベルトがズレないように、ロックング・クリップまたは調節部分でベルトを固定して下さい。
4. 再び下図のようにシートベルトを通し、バックルとタングプレートとを結合して下さい。そして、お子様が座っても腰ベルトに、たるみが出ないかチャイルド・シートを座席に強く押しつけて確認して下さい。もし、たるみが発生するようであれば、さらに腰ベルトを短く調節し取り付けして下さい。

NR・ALR 2点式シートベルトの場合



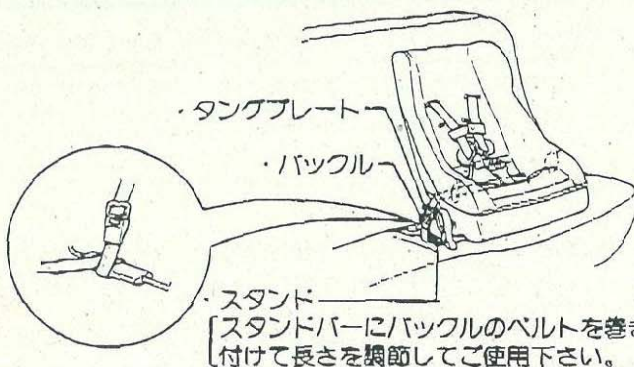
バックル
タングプレート及び調節部
[チャイルド・シートをゆるみなく
固定出来る長さに調節して取り
付けて下さい。] (NRの場合)

《ご注意》

NR・ALRの場合はロックング・クリップを使用
しません。
ALRは、シートベルトを上図のように通して
バックルに結合して下さい。

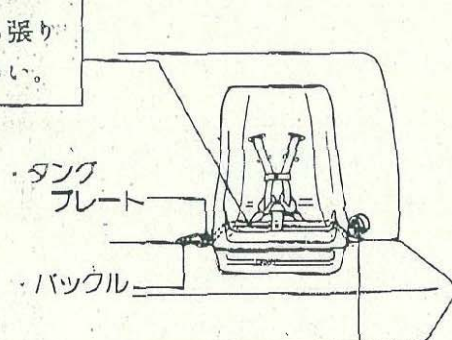
《上記が出来ない場合》

バックルやタングプレートがチャイルド・シート内部に突き
出す場合は、次のようにお取り付け下さい。



タングプレート
バックル
スタンド
[スタンドバーにバックルのベルトを巻き
付けて長さを調節してご使用下さい。]

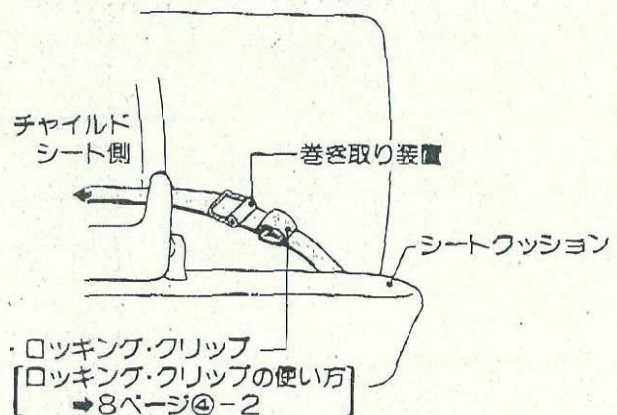
NLR・ELR 2点式シートベルトの場合



タング
プレート
バックル
ロックング・クリップ
[ベルトを全部引き出し、この位置で
ロックング・クリップを用いて長さを
調節して下さい。
ロックング・クリップの使い方
➡8ページ④-2]

《巻き取り装置付き2点式シートベルトの場合》

巻き取り装置より、シートフッション寄りの部分に
ロックング・クリップをご使用下さい。



チャイルド
シート側
巻き取り装置
シートフッション
ロックング・クリップ
[ロックング・クリップの使い方
➡8ページ④-2]

手順 3

●ご使用の前には、必ず8ページ⑤に従って点検を行って下さい。

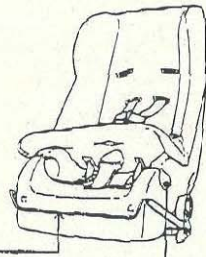
③後向きに取り付ける場合

■生後6ヶ月以上～1才未満までのお子様には、チャイルド・シートを後向きに取り付けることをおすすめいたします。次の手順に従って車両に取り付けてご使用下さい。

手順 1

- ①表皮を本体の取付穴Aまで外して下さい。
- ②表皮を股ベルトから外して下さい。
- ③スタンドを凹部にはめて下さい。

取付穴A



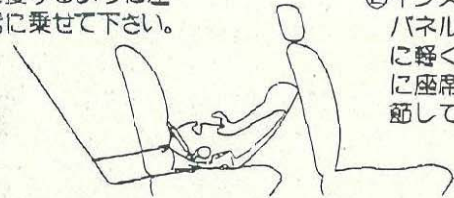
手順 2

- ①この部分がシートと接するように座席に掛けて下さい。

- ②インストルメントパネルまたは前席に軽く当たるように座席を前後に調節して下さい。

《ご注意》

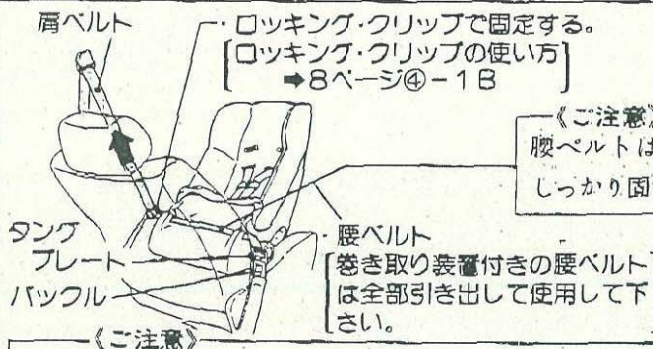
- 安全性をより高めるために後席へのお取り付けをおすすめします。
- 前席に取り付ける場合はヘッドレストをさげて下さい。



手順 3

1. 下図のように、取付穴Aにシートベルトを通し、バックルとタングプレート相结合して下さい。
2. 次にチャイルド・シートを強く座席に押しつけ、お子様が座っても腰ベルトが強く張るように⇒印のベルトを引張り腰ベルトの長さを決めて下さい。
3. 一旦、バックルとタングプレートの結合を外し、腰ベルトがズレないように、ロックング・クリップまたは調節部分でベルトを固定して下さい。
4. 再び下図のようにシートベルトを通し、バックルとタングプレートを結合して下さい。そして、お子様が座っても腰ベルトに、たるみが出ないかチャイルド・シートを座席に強く押しつけて確認して下さい。もし、たるみが発生するようであれば、さらに腰ベルトを短く調節し取り付けして下さい。

ELR・NLR・NR 3点式シートベルトの場合

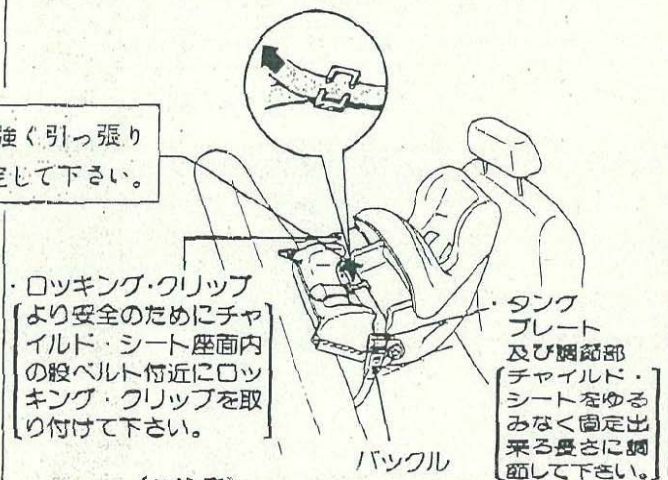


《ご注意》

腰ベルトは強く引っ張り
しっかり固定して下さい。

- 上図のように取り付けない場合は、ロックング・クリップをバックル側に付けて下さい。(ロックング・クリップの使い方8ページ④-1A)
- ELR2個付きシートベルトの場合には腰ベルトを全部引き出した状態でロックング・クリップを使用し、チャイルド・シートをゆるみなく固定して下さい。(ロックング・クリップの使い方8ページ④-2)

NR・ALR・NLR・ELR 2点式シートベルトの場合



《ご注意》

巻き取り装置付き2点式シートベルトには取り付けが出来ません。

手順 4

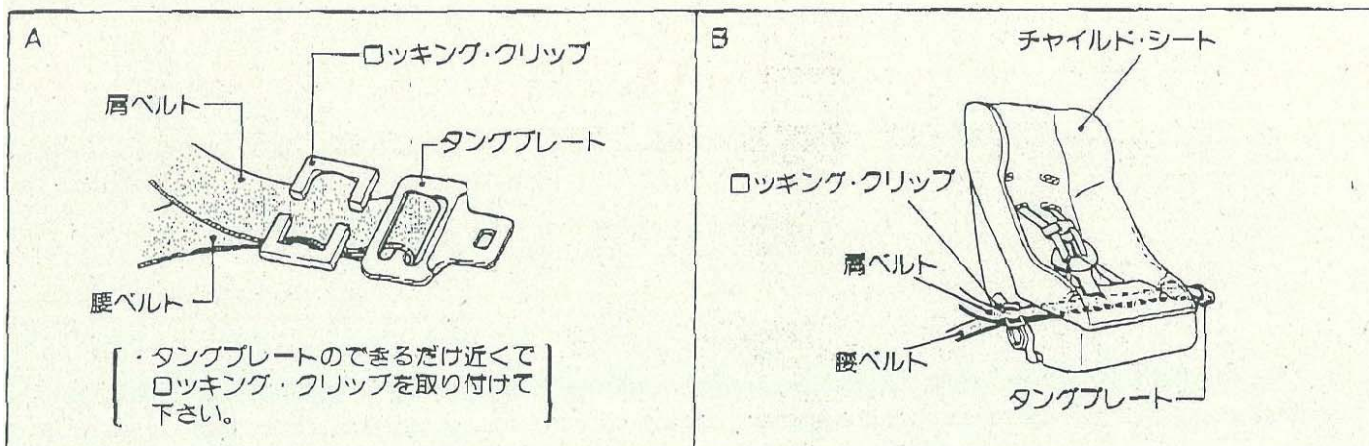
1. 表皮をはめ、元の姿に戻して下さい。
2. ご使用の前には必ず8ページ⑤に従って点検を行って下さい。

④ ロッキング・クリップの使い方

■ ロッキング・クリップは、タングプレートの固定とシートベルトの長さの調節に使用いたします。

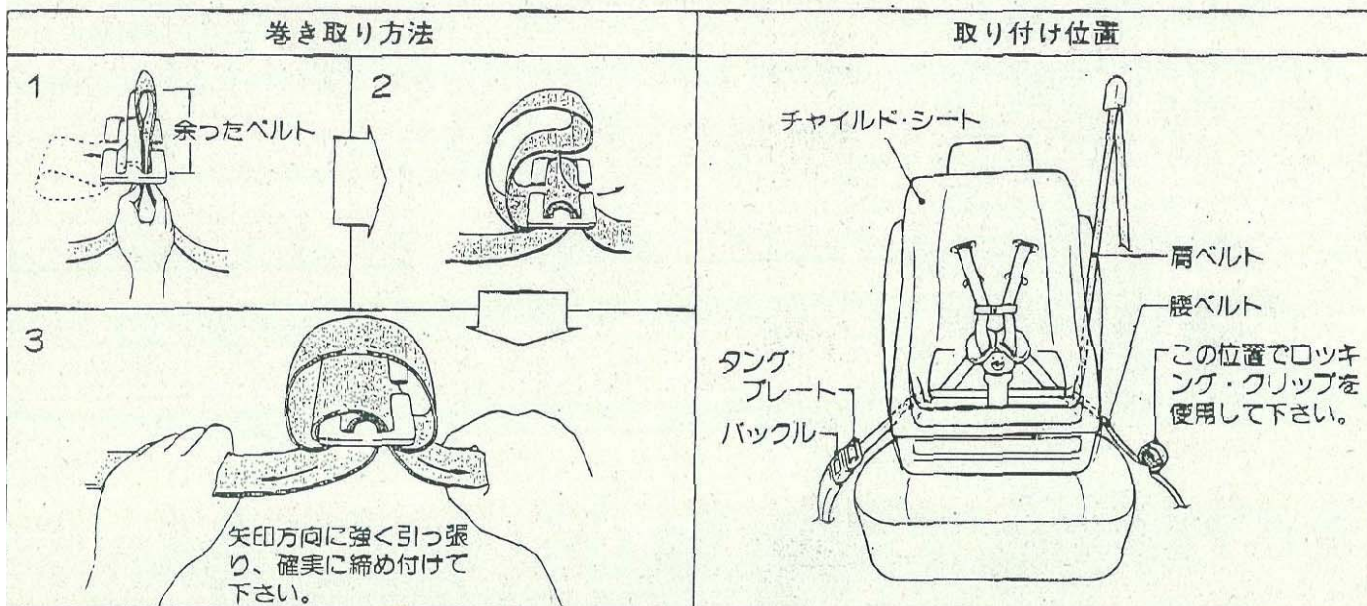
1. タングプレートを固定する場合

腰ベルトと肩ベルトを合せてロッキング・クリップを取り付けて下さい。



2. ベルトの長さを調節する場合

ベルトを全部引き出して使用する場合は、余ったベルトを次のようにしてロッキング・クリップで巻き取って下さい。



⑤ 取り付け後の点検

■ ご使用の前に取り付け状態の確認を行って下さい。

1. 後向きでご使用される場合は、チャイルド・シートのスタンドが本体凹部にはまっていることを確認して下さい。
2. 車両シートベルトの腰ベルトにゆるみがないことを確認して下さい。
また、この時右図のように腰ベルトの中央部を上方へ引っ張り上げて、巻き取り装置に巻き残りのないことを確認して下さい。
3. バックルやタングプレート及びロッキング・クリップがチャイルド・シート本体の内部に突き出していないことを確認して下さい。
4. 補助ベルトを使用する場合には確実にチャイルド・シートが固定されていることを確認して下さい。
5. チャイルド・シートを前後左右にゆすってゆるみがでないことを確認して下さい。

● 上記各項に示すように固定できないシートには、チャイルドシートを装着しないで下さい。

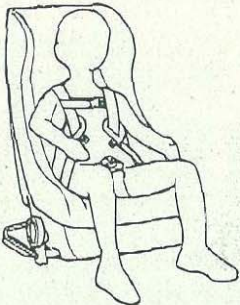
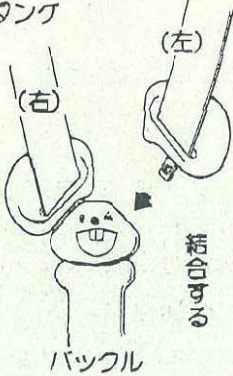


§4 ご使用方法

■チャイルド・シートは次の方法に従ってご使用下さい。

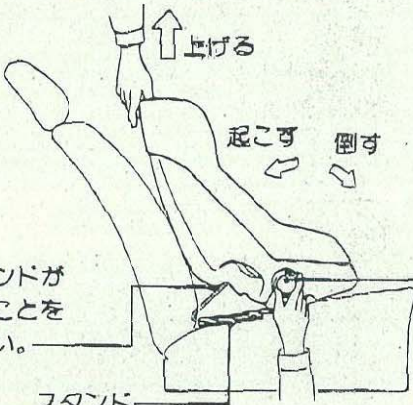
①着用方法

■次の手順に従って、チャイルド・シートにお子様を座らせて下さい。

手 順	1	2	3	4
方 法				
説 明	お子様を座らせる前に肩ベルトを左右に開き股ベルトを前へ倒して下さい。	お子様を座らせて肩ベルトが左右の肩にくるようにセットして下さい。	左右のタンクを股ベルトのバックルへ確実に結合して下さい。	肩ベルトにねじれやゆるみがないことを確認し、必ずクリップをお子様の胸のあたりで止めて下さい。

②リクライニングの仕方

■チャイルド・シートを前向きで使用される場合には、お子様を座らせたままの状態のリクライニングさせることができます。



1. チャイルド・シート上部を少し持ち上げて下さい。
2. リクライニングダイヤルをひら印の方向へ回して下さい。

3. 本体溝にスタンドが確実に入ったことを確認して下さい。

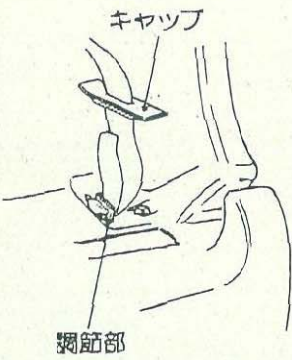
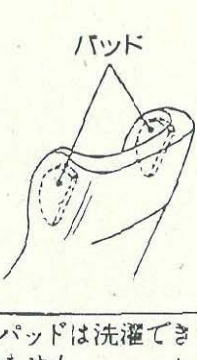
（ご注意）

1. リクライニング操作は必ず車を止めて行って下さい。
2. 補助ベルトを使用している場合はその都度調節して下さい。
3. 操作時、手や指をはさまないように気を付けて下さい。
4. リクライニング操作によってチャイルド・シートを固定しているベルトがゆるんでいないことを確認して下さい。
5. 前席の場合、シードバックの角度を調節してスタンドが本体溝へ確実に入るようにして下さい。
6. チャイルド・シートの肩ベルトがお子様の肩にくるようにセットしてないと、衝撃が加わった時に肩から外れる場合がありますので、ご注意下さい。

5 チャイルド・シートのお手入れ

①表皮の外し方

■次の手順で表皮を外して下さい。

手 順	1	2	3
方 法			
説 明	キャップを外して調節部からベルトを外して下さい。	ベルトを穴から引き抜き、プロテクタ（4ヶ所）を前後へ外して下さい。	表皮を本体から外し表皮内のパッドを外して下さい。

《ご注意》

●本体底部のカバーや股ベルトを外さないで下さい。

②構成部品のお手入れ

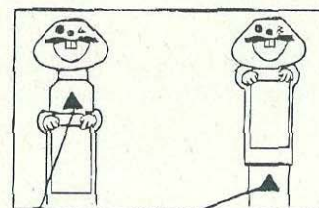
- 表皮をチャイルド・シート本体から外し、中性洗剤で手洗いし、陰干しでよく乾かしてからご使用下さい。
- 本体・スタンド・肩ベルトは中性洗剤で汚れを拭き取った後、陰干しでよく乾かしてからご使用下さい。

③表皮の取り付け方

■洗濯後の表皮は、3 ページの肩ベルトの調整方法と前述の表皮の外し方を参照して取り付けて下さい。

§6 その他の注意事項

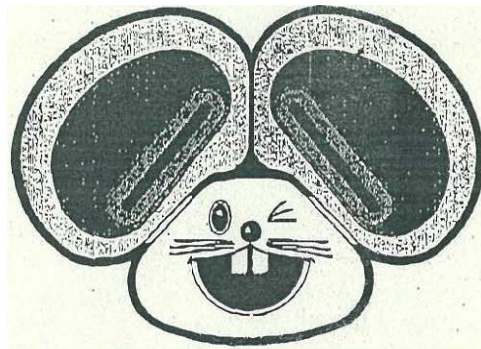
1. お子様バックルボタンに触れて、バックルが外れないようにご注意下さい。
2. チャイルド・シートに日光が当たりますと、バックル部等が、あつくになりますので、金属や樹脂部品に触れて、あつさの程度を調べ、やけどをしないことを確認の上、お子様をおのせ下さい。
3. 安全性をより高めるため、後席へのお取り付けをおすすめします。
4. ベルトの種類等により、確実にチャイルド・シートを固定できない場合は、他の座席に取り付けて、ご使用下さい。
5. 2・3ドア車両の場合、後部座席に人が乗る時は、緊急時の脱出のため、チャイルド・シートを助手席に取り付けないで下さい。
6. チャイルド・シートの股ベルトには、衝突時の衝撃を吸収するために、ブーツ内のベルトに特殊な縫製が施してあります。もし、何らかの理由により、右図のような状態になりましたら、お買い求めの販売店で、お取り替え下さい。
7. 事故により衝撃を受けたチャイルド・シートは、再使用なさないで下さい。
8. チャイルド・シートをご使用にならない時でも、安全のため車両シートベルトで固定しておいて下さい。
9. ベルトに傷がついた場合はお買い求めの販売店にて、お取り替え下さい。
10. むやみに改造しないで下さい。
11. ロッキング・クリップはチャイルド・シートを固定する場合のみ使用して下さい。
12. 性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。
13. ご不明の点は、お買い求めの販売店へ、お問い合わせ下さい。



黄色のマークが飛び出した場合

ご使用前に今一度お確かめ下さい。

- チャイルド・シートがシートベルトによって確実に固定されていること！
- チャイルド・シートの肩ベルトにゆるみがないこと！
- チャイルド・シートのタングとバックルが、確実に結合していること！



Fun To Drive